

1 R4 芽室町議会活性化計画主要事業（評価案）

「分かりやすい議会、開かれた議会、行動する議会」を目指して

主要2項目

1 町民意見を基軸とした議会政策形成サイクルの作動 評価●

（議会基本条例 第2条（4）、第3条（2）、第8条（1・5）、第12条、第16条）

→ 町民意見を起点とした政策形成サイクルの定着

2 町民ニーズに的確な議会権能の発揮 評価●

（議会基本条例 第2条（2）、第3条（2）、第8条、第11条（1）、）

→ 事態・事象に即した住民視点で調査・審査機能の発揮

A=おおむね達成した
 B=達成しているが改善余地あり
 C=達成していない
 D=取り組んでいない

②改善・新規活性化3事項

項 目		内 容	達成時期	評価
■新規事項	区分			
1. 外部評価による活動事業の集中と選択	新規	事業の成果分析による廃止、継続、修正、拡充・充実の精査	R5年 3月	評価C
2. 自己評価の位置付け、手法、制度の点検	新規	事業評価、外部評価との区分及び自己評価の目的と成果の検証	R5年 3月	評価C
3. 議員間討議による活性化2事項の点検	新規	全議員による現状、課題、解決策の整理、検証、実行	R5年 3月	評価B

[R元年度評価] ⇒ R4 新規

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R2年度評価] ⇒ R4 新規

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R3年度評価] R4 新規

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R4年度評価] 外部評価による活動事業の集中と選択 **未達成：継続**

進捗状況	評価事業を議会内で選定し、北大公共政策大学院（HOPS）の研究成果（PDMシート）を活用して目標設定と成果を整理した。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	年度初めに議会内で共通認識を図り対象事業を選定した。また、北大の研究成果（PDMシート）により事業前に目標を設定し、成果の整理をしたが、議運内における事業後の検証結果では、目標設定のあり方や手法の妥当性など課題が浮き彫りになった。次年度に向けては、目的と手法について、議会全体（全議員）が共通認識を図るために、早い時期に議員研修を実施するなど、継続事業とする。									

[R元年度評価] ⇒ R3 新規

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R2年度評価] ⇒ R3 新規

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R3年度評価]

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R4年度評価] 自己評価の位置付け、手法、制度の点検 **未達成：継続**

進捗状況	北大公共政策大学院（HOPS）の研究事業による提言を基に取り組むことの共通認識を図り、現状と課題を共有した。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	令和4年度の自己評価の手法は、基本的に例年同様とした（2月末集約・3月上旬公表）									

[R元年度評価] ⇒ R3 新規

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 2 年度評価] ⇒ R3 新規

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 3 年度評価]

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 4 年度評価] 議員間討議による活性化 2 事項の点検 未達成：継続

進捗状況	年度当初の事業（施策）内容を変更したが、議員間討議を実施し一定の目標を達成した。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	議員研修により全議員が「議員間討議～対話する議会・議員」の意義と効果を学び、その成果を生かして、議員自らがファシリテーターとなり議員間討議を実践した。この実践にあたっては、合同委員会の調査事項である「物価高騰に係る今後の支援策」をテーマに、議運、全協、合同委員会の役割に応じて協議・討議を重ね、その結果、両常任委員会から町に対する政策提言となった。									